



明治大学校友会 市川地域支部報

まつかぜ



発行：明治大学校友会千葉県西部支部市川地域支部 〒272-0835 市川市中国分4-13-12 発行人：行木勝雄

第一回総会開かれる

市川地域支部の設立総会は平成16年12月18日、50人の校友が参加して勤労福祉センターで開かれ、歴史に第一歩を印しました。その後、行木支部長をはじめ役員がさまざまな努力を重ね、7月に正式に地域支部設立が承認されました。

そして9月4日にJR市川駅近くのグランドホテルで第一回総会と懇親会が開かれたのです。午前11時の開始までに84人の校友が会場の受付に現れ、登録を済ませるとすぐに旧交を暖める輪が次々に生まれました。

総会は長井幹事長の司会で始まり、小菅副支部長が開会を宣言しました。続いて挨拶に立った行木支部長が、設立のいきさつを力強く述べ、市川に集う校友の輪を固く、また広くひろげようと呼びかけました。

行木支部長が議長席について総会の議事に入り、次の議案が提案され、満場一致で承認されました。

- ◆第1号：平成17年度事業計画案
- ◆第2号：同収支予算計画案
- ◆第3号：同役員選任（2名）

これについては、石渡 学、伊与久美子の両氏が副支部長に就任。副支部長は4人体制となりました。なお、議事録署名人は佐川、高桑の両幹事が指名されました。

議事の終了後、校友会本部および松戸、柏、浦安、我孫子、船橋各地域支部の皆さんが紹介され、本部戸倉理事からは丁重な祝辞と共に母校の現状や方針について詳細な報告があり、疎遠になっていく母校の話に興味深く耳を傾けていました。

最後に伊神監査委員が閉会を告げる頃には11時半すぎとなっていました。

若干の休憩の後、印南副支部長の司会で懇親会の幕が開き、且下幹事が開会の口火を点けると、川辺正二氏の発声で乾杯が行われました。

程よく杯が交された後、校友で講談界の重鎮宝井馬琴師匠が、母校出身の芸能人の活躍をユーモラスなエピソードを交えて語り、また十八番である赤穂浪士討入りを演じて満場から大喝采が起りました。

トリを取ったのは市川ハーモニカクラブの19人と市川童謡の会の皆さんでした。ハーモニカの方は、在学中にハーモニカソサエティで活躍した長井幹事長が市内で指導をしているメンバーであり、童謡の会は阿部監査委員が会長をしていますが。

ハーモニカの「ウィーンはいつもウィーン」の演奏で始まり、その後は「さくら」「とうりゃんせ」と唱歌の合奏が始まると参加者も

合わせて歌い出し「ふるさと」では全員が立ち上がったので大合唱となりました。この勢いで且下幹事の指揮によって校歌を斉唱し、伊神監査委員の閉会の言葉により校友の絆を結び、前進への確かな一歩を踏み出した会は盛会のうち14時に幕が下りました。

母校の『教育振興協力資金』へぜひお力を

お手元に校友会からのお願いとして「明治大学教育振興協力資金」への協力についての、DMが届いていると思います。

明治大学校友会は、明治十九年に創設され、母校への賛助、支援、親睦等の諸活動を続けて来ましたが、今年が校友会創設一二〇年に当たり、記念事業の一環として永年の念願でもあった校友会館（仮称）を総額35億円を投じて神田小川町旧小川町校舎跡地に建設することが決まりました。

校友会館は7階建てで、延べ床面積は3千2百平方メートルの近代的建物です。

校友会では、これを支援するため当面10億円を目標に募金活動を行っています。

私たちもぜひ協力したいと思えます。なお、振込用紙の所属校友会支部欄には「市川地域支部」と必ずご記入下さい。

★銀の航跡★ 第1回

愛馬との別れに涙

行木勝雄（法学部・昭和35年）

夜明け前に、眠い目をこすりながら厩舎の二階に寝起きしていた私達一年生3名は、一人で数頭の馬の世話をする事から馬術部の一日が始まった。

厩舎の馬を全部馬場へ出し、寝わらを干し、糞を掃除し、飼料（飼葉）を与えるという、かなりの重労働の毎日でした。

私が明治大学馬術部へ入部したのは、昭和31年春で、当時の厩舎と馬場は、渋谷駅から玉川電車（通称：玉電）に乗り終点の二子玉川駅から歩いて10分位の所にあり、近くを多摩川が流れ、二子玉川遊園地に隣接した環境の良い場所であった。

練習が終わり、汗をかいた馬の体を拭いてやり、蹄鉄に油をつけ、寝わらを取り込み敷いてやる頃にはもう日が暮れていた。

こうして馬と一緒に生活が続いたが、事情があつて退部することとなり、やがて愛馬との別れの時が来てしまった。

別れの日、厩舎の各馬の前に立つて馬の顔を見つめていると、多摩川の川原と一緒に走ってくれた馬、練習で何回も振り落とされた気性の激しい馬、いつもやさしく寄り添ってくれた馬、等様な思

いが込み上げ涙が止まらなかつた。やさしく「たてがみ」をなぞてやり「達者でな」と声をかけ、厩舎を後にした時の事は今でも忘れることができない。

あれから五十年、今や明治大学馬術部は全日本学生馬術大会三種目団体総合13年連続優勝を達成した。

私も、明治大学体育会馬術部駿台会の会員として本年3月8日、明治大学リバティータワーに於いて開催された優勝祝賀会に、同馬術部の大先輩で、校友会千葉県支部支部の三宅支部長と共に参加させていただき、当時の部員と再会し再び50年前を思い出し胸が熱くなった。

『市川童謡の会』と私

阿部晃（経営学部・昭和34年）

いちかわ童謡の会は、昨年の市川支部総会のアトラクションに本年も引き続きお声をかけていただき、会場の皆さんと一緒に歌った感動を、今思い出しております。

いちかわ童謡の会は今年20周年を迎えます。過去の2回の演奏会に、かつての童謡歌手 川田正子さんを招聘しており、今年の20周年記念演奏会にもぜひ出演していただきたいと企画しておりました。ところが去る1月23日夜7時のNHKニュースで、川田さん急逝の

報道に驚かされました。昭和9年生まれの71才でした。

戦争中から戦後にかけて童謡歌手としてその時代のいわゆるアイドルで、主にNHKのラジオ放送で活躍。昭和21年7月には静岡県のある小学校からの日本初の二元放送で、「みかんの花咲く丘」を初演し、全国的にヒットさせました。

「里の秋」「ばあや訪ねて」「蛙の笛」等、皆に親しまれた歌がいっぱい。童謡歌手を引退するまで活躍しました。音楽学校卒業後は、自分で指導した「森の木児童合唱団」を育成しており、まことに残念でした。

2月5日の増上寺での音楽葬には多くのファンが参列し葬儀が営まれた。霊前で森の木の子供達が涙ながらに歌いました。

童謡はクラシックから流行歌の歌手まで多くの方が歌っています。『童謡の歌い方があるのかどうかかわらないが、川田さんの様にこれが童謡だという歌い手はいません』と市川童謡の会の山崎八郎先生はおっしゃっています。

今どきの子供達は、どんな歌を歌っているのでしょうか。幼稚園・保育園や学校で習った歌をはじめアニメの主題歌やテレビコマースの歌等、結構幅広いのかもしれない。そしてそれらはどんどん変わっていくのでしょうか。

日本童謡協会 会員

市川童謡の会 会長

蘇る栄光のハーモニカ

長井孝介（商学部・昭和37年）

市川の明大校友きつてのミュージシャンである長井孝介さん（幹事長）は、第一回総会でのハーモニカ演奏とコーラス共にその見事な指揮で出席者を魅了しました。

市川市内では、6年前から公民館など二か所でハーモニカ教室を指導しているというシルバライフの達人でもあります。高校時代に三度の全日本制覇を果たし、三年生時代はそのバンドの指揮をしていた、という栄光のコンダクターだったのです。

お父さんはアマチュア音楽家 長井さんの生家は豪雪で知られる新潟県長岡市で文具卸商を営んでおりました。

お父様は仕事のかたわら、町内きつての音楽ファンで、当時としては高価な電気蓄音器と多数のレコード盤をコレクションしており、家の中には常に音楽が流れていました。

音楽好きはそれだけにとどまらず、ピアノやアコーディオンの演奏にも長じており、お祭り等様々なイベントに出演して町民を楽しませていた、というスターでした。そんな父親を持った子供達が音楽好きになるのは極めて自然なこ

とで、お兄様は県立長岡商業高校に入ってハーモニカバンドに属し、全日本学生器楽連盟協会が主催する全日本学生ハーモニカコンクールの高等学校の部で全国優勝を果たしています。

お兄様からハーモニカの指導を受けた長井さんは、その後を追うように長岡商業へと進み、ハーモニカバンドの一員となりました。栄光ある全国一位の座

「長岡ハーモニカ部」の誕生は大正12年10月で創立者は当時明大学生であった長商出身の松田新二さんです。終戦後の昭和22年、石黒 譲氏らによつて音楽部も再興され、昭和25年に初めて、日本学生ハーモニカコンクールで、初出場・初優勝を果たしました。

その後プロとして指導をされていたのは作曲家、アレンジャーの陶野重雄さんでしたが、陶野さんは年に数回しか来られませんでしたし、現在と違い商業高校に音楽教師は配属されていませんでしたので、普段は上級生が下級生を指導する「めだかの学校」方式で練習をしていました。

長井さんは一年生の時にはソプラノ・ホルン・ハーモニカ、二年生ではギター、三年生では指揮をすることになりました。

全国制覇を続けるバンドの練習ともなるとハンパではありません。授業が終る3時半に練習が始まり、

夜8時まで続きました。その8時というのも汽車通学生のことを考慮してのことで、コンクール間近ともなると9時まで延びたり、合宿は柔道場でその畳の上へ寝たといいますが、若さというのはまこと破天荒なものです。皆さんも、覚えがあるでしょう。

さて指揮棒は取ったもののお兄様に負けないためには、全日本で優勝しなければなりません。十分な練習は積んで来たものの内心はドキドキでしたが、あこがれの明大記念館講堂での演奏で昭和31年の第17回大会高校の部でトップの座についた時の感激は忘れることはできません。

ハーモニカソサエティの主要部員に事情があつて昭和33年、あこがれの明大商学部へ入学。1カ月後には記念館最上階のハーモニカソサエティの部室に居ました。

入った年のプログラムを見ると、長井さんの名前が出てくるのを見つけてました。新人ですぐ演奏メンバーに入れるなんてすごいですねと言つと、「いえ、40〜50人もス

テージに上がれますから。」とご謙遜。やはり全日本優勝の実力はすぐ頭角を現すのでしようね。

やはり大学のレベルは高く、エース級の先輩が何人も居ましたし、あの自分の顔が登録商標になつていた宮田東峰さんも時々顔を見せていたといえますから、さすがは

明治のソサエティですね。

もちろん週3日の練習には欠席すること無く、ハーモニカ中心のキャンパスライフを謳歌したものでした。

しかしそれも二年生までで、三年で会計数学の佐々木ゼミへ入室すると、実技や自習でもとてくらぶとの両立は難しく、キツパリと音楽活動とは縁を切り学業に専念しました。

卒業後も仕事を覚えるのが精一杯で、下宿で音楽を聴いたり、ギターを弾いたりしていましたが、定年になるまで音楽グループに参加することが無かつたといえますから、無趣味で仕事一筋のビジネスマン像が浮かび上がってきます。

それが、泥の中からハスの花が開く様にシルバライフとして甦つたわけなのです。これからも我々のため、地域社会のために活動を続けられるよう願っています。

青春？万歳！

伊与久 美子（文学部・昭和41年）

明大校友会市川地域支部の組織拡大のために、奔走される行木支部長と長井幹事長に初めてお会いしたのは、ちょうど2年前の私はまだ現役の時でした。と申しましたも、公務員生活の最終章を目前にしたある夏の日の午後でした。職場にお訪ね下さったお二方の、

母校を愛する交友会員としての情熱的な目の輝きと口調には、その年齢と風貌からは伺い知れないほどの若々しく、力強く、そして温かいぬくもりと明大魂にあふれていました。

そんなご縁から、役員会にも名を連ねさせていただくようになった私ですが、昭和41年度卒業後も、生まれ育つたこの市川市をこよなく愛して住み続けております。そして更に私にとつては我が母校明治大学は、学び舎としての想いと共に我が青春の原点であり、私たち夫婦の今日の原点でもありますので、ことさらこのたびの母校とご縁の復活は、卒業以来40年ぶりに得た記念すべき出来事といえます。

いまさら申し上げるのは少々気恥ずかしいのですが、岐阜県出身の夫とは、同じ教室で、ひたすら歴史の世界を学び続けた同級生でした。そして学生時代の共通の経験や感動が、六十路を越えた今も尚、色あせることなく新鮮な感覚として残っていることに気付くことが最近多々あります。それは、「地域」をキーワードに、私は、支えあい・助け合いのネットワークづくりの仕事に携わり、夫は生涯学習を目指したNPO活動というように、共通のフィールドに居るからだろうと思えます。

「いつも青春」をモットー、前

向きに、プラス思考で、そしてチャレンジ精神も失うことなく、厳しいと言われるこれからの時代を元気に過ごしていきたいと願っているところでは、先輩の皆様、仲間の皆様、今後ともよろしくご交誼賜りますようお願い申し上げます。

全国校友会は九月に宇都宮で

全国校友栃木大会前夜祭を9月23日(土) 鬼怒川温泉ホテルニュー岡部で、大会と懇親会を翌24日(日)に宇都宮市・ホテル東日本宇都宮で開きます。

ゲストスピーカーは本年4月から理工学部教授に就任した北野大(まさる)氏で、タケちゃんこと北野 武氏のお兄さん。

参加希望者は行木支部長まで。電話(372)7282

千葉県西部支部総会は柏で

日時：6月25日(日)午後3時～4時、懇親会は午後4時～6時

会場：柏市・プラザハイアン柏
講演：大学教育における連携の必要性

講師：水野勝之先生(商学博士 明治大学商学部教授)
アトラクション：マンドリン演奏「東京マンドリン合奏団」

◆会費：6千円
案内状は本部より会員宛に郵送されます。

市川地域支部第二回総会の開催

明治大学市川地域支部の第二回総会を次のように開催します。

日時：6月4日(日)午後1時
懇親会は午後2時
場所：市川市・市川グランドホテル

◆会費：9千円(年会費3千円を含む)

◆アトラクション：①マンドリン演奏②市川童謡の会③市川ハーモニカクラブ
多くの方の参加が望まれますので、お誘い合わせの上おいで下さい。

校友会館の名前を募集

明大校友会館(資金の募集は別記事)は11月竣工をめざして駿河台D地区(旧小川町校舎跡地)へ建設を開始しています。

この建物の名称を卒業生始め教職員等から募集いたしますのでご応募ください。

◆募集期間：本年5月～6月17日迄(消印有効)
◆応募方法：官製はがき又は封書に名称とその由来を記載。住所、氏名、電話番号、出身学部、卒

年を忘れずに。

◆送り先：〒101-8301 千代田区神田駿河台一丁目 明治大学教育振興部校友課 「会館名称募集係」まで。

ゴルフコンペ

初代優勝者は高橋さん

「公式第一回ゴルフコンペ」が4月7日、10名が参加して成田東カントリークラブで行われました。

天候に恵まれ、それぞれの技術を精一杯グリーンに展開。表彰・懇親会を居酒屋・上喜源での祝杯を上げる等楽しい一日となりました。

優勝：高橋一郎、準優勝：伊与久剛史、3位：石原道生、BB：長井孝介、BG：高橋一郎

なお、第二回ゴルフ会は7月21日(金)に東京湾CC(袖ヶ浦市)で開催の予定。会員の参加をお待ちしています。問い合わせは代表幹事・高桑謙二郎まで。

カラオケ同好会五月に「初啼き」

カラオケ同好会は3月30日に発足しました。メンバーは14名で、役員は次の方々。

◆会長：小菅 公
◆幹事長：佐川 清
◆副幹事：斉藤英夫、高桑謙二郎
待望の初啼きは5月10日の午後

3時から本八幡の「スナック京」で行われました。

小菅会長のあいさつもそこそこに、参加者が次々に得意の歌を披露し、和気あいあいのうちにかつ歌いかつ飲みつつ3時間を過ぎ、校歌を斉唱して散会しました。次回は9月5日(火)に同じ場所で開催の予定です。

◆参加希望者は佐川幹事まで。電話(337)4487

初ウォーキングは江戸川沿い

「地域支部散歩会」初ウォーキングは五月晴の5月21日(土)に実施されました。

ガイドの印南会員をはじめ、白坂、行木、小菅、斉藤の4人が参加しました。

コースは江戸川のゴールドコーストと言われる里見公園、野菊の墓文学碑、矢切の渡し、寅さん記念館、山本亭および柴又帝釈天でした。

江戸川の流れに身をゆだね、山本亭の庭を眺めながらお茶とお菓子でくつろぎました。

★パープルばるーん★

原稿が集まらないことを恐れたが、今回は集まりすぎてうれしい悲鳴。写真が一枚も入らなかったことが悔やまれる。(印南 記)